

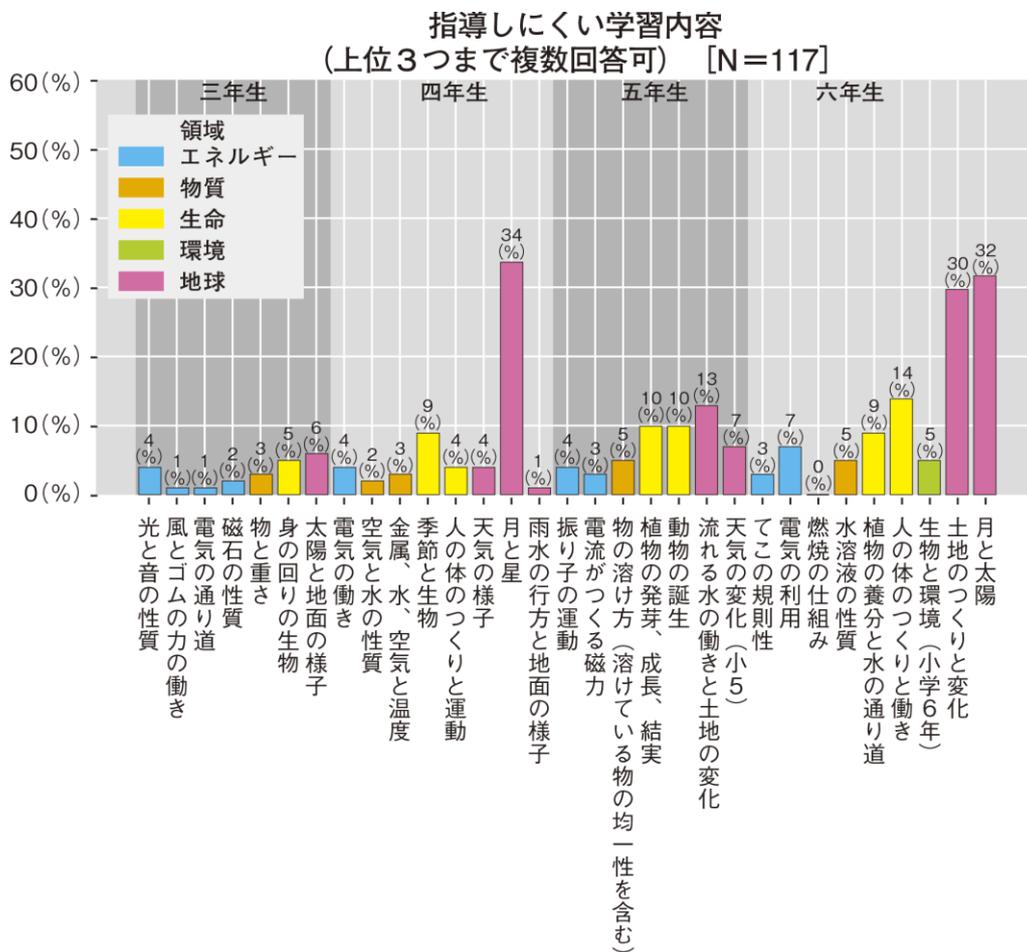
# DATA① 授業で指導しにくいと感じる学習内容について

(小学校理科)

小学校教諭が授業で指導しにくいと感じる学習内容は、地球領域の「月の星」が34%、「土地のつくりと変化」が32%、「月と太陽」が30%で上位3つとなった。これら3つの学習内容が地球領域であることから、他の領域と比べ地球領域には指導しにくい学習内容が多く含まれる傾向がみられた。ただし、回答者数は117人で、回答は上位3つまでの複数回答である。

Q 授業で指導しにくい（児童生徒が理解しにくい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校）（D-5）

※「理由」については、この中間報告では割愛しています。



## DATA② 授業で指導しにくいと感じる学習内容について

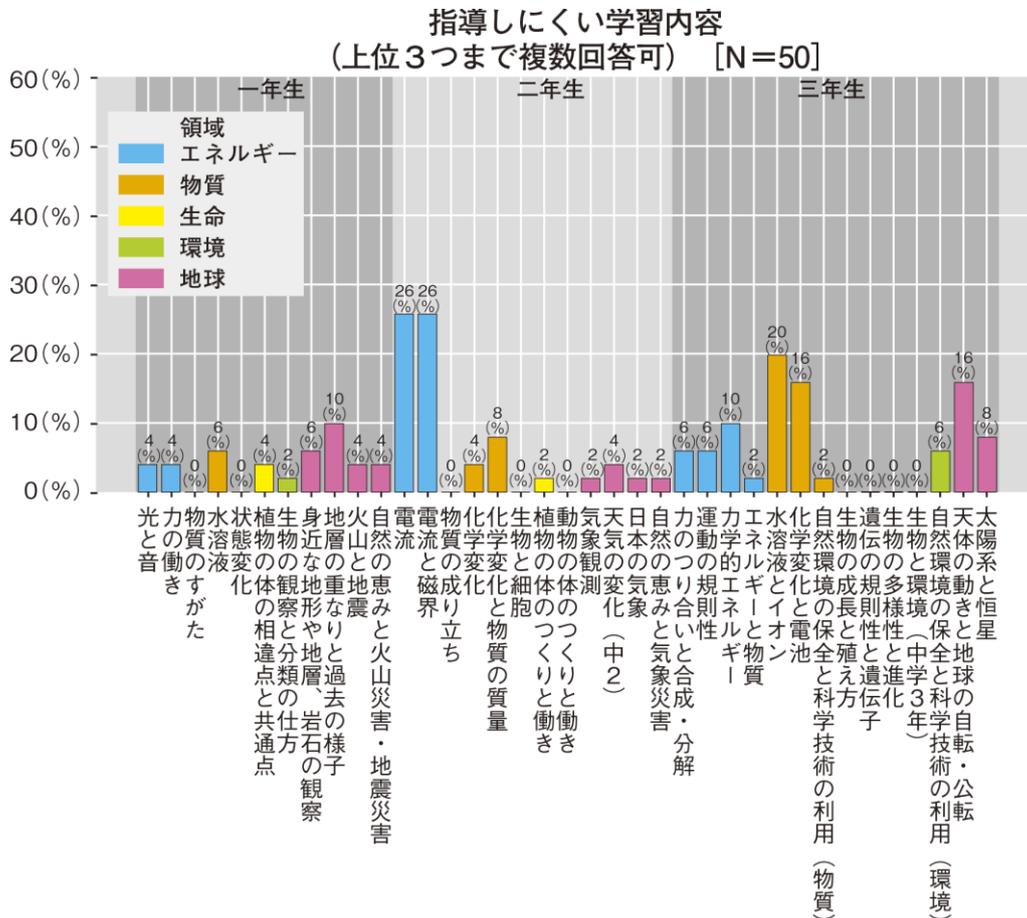
(中学校理科)

中学校教諭が授業で指導しにくいと感じる学習内容は、二年生のエネルギー領域である「電流」と「電流と磁界」が共に26%で上位2つとなった。また三年生の物質領域である「水溶液とイオン」が20%、「科学変化と電池」が16%と続く。いずれも電気にかかわる学習内容が指導しにくい学習内容となる傾向がみられた。ただし、回答者数は50人で、回答は上位3つまでの複数回答である。

2

Q 授業で指導しにくい（児童生徒が理解しにくい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校）（D-5）

※「理由」については、この中間報告では割愛しています。

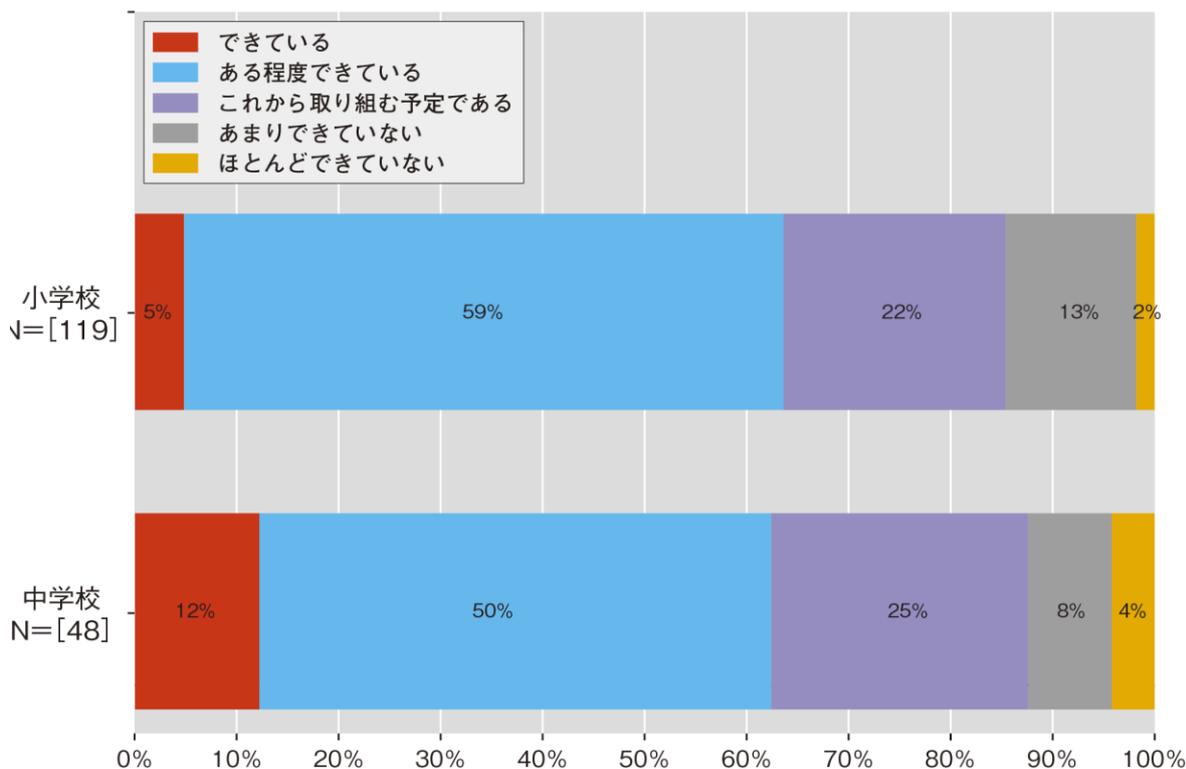


### DATA③ 主体的・対話的で深い学びによる授業改善について（理科）

主体的・対話的で深い学びによる授業改善について、小学校教諭においては「できている」が5%、「ある程度できている」が59%で合わせて64%であった。また、「これから取り組む予定である」が22%であった。ただし、回答者数は119人である。中学校教諭においては「できている」が12%、「ある程度できている」が50%で合わせて62%であった。また、「これから取り組む予定である」が25%であった。ただし、回答者数は48人である。小学校・中学校の理科教育において、授業改善に対する積極的な取り組みが広まっていると考えられる。

Q 現段階で、主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善をされていますか。（D-8）

主体的・対話的で深い学びによる授業改善について

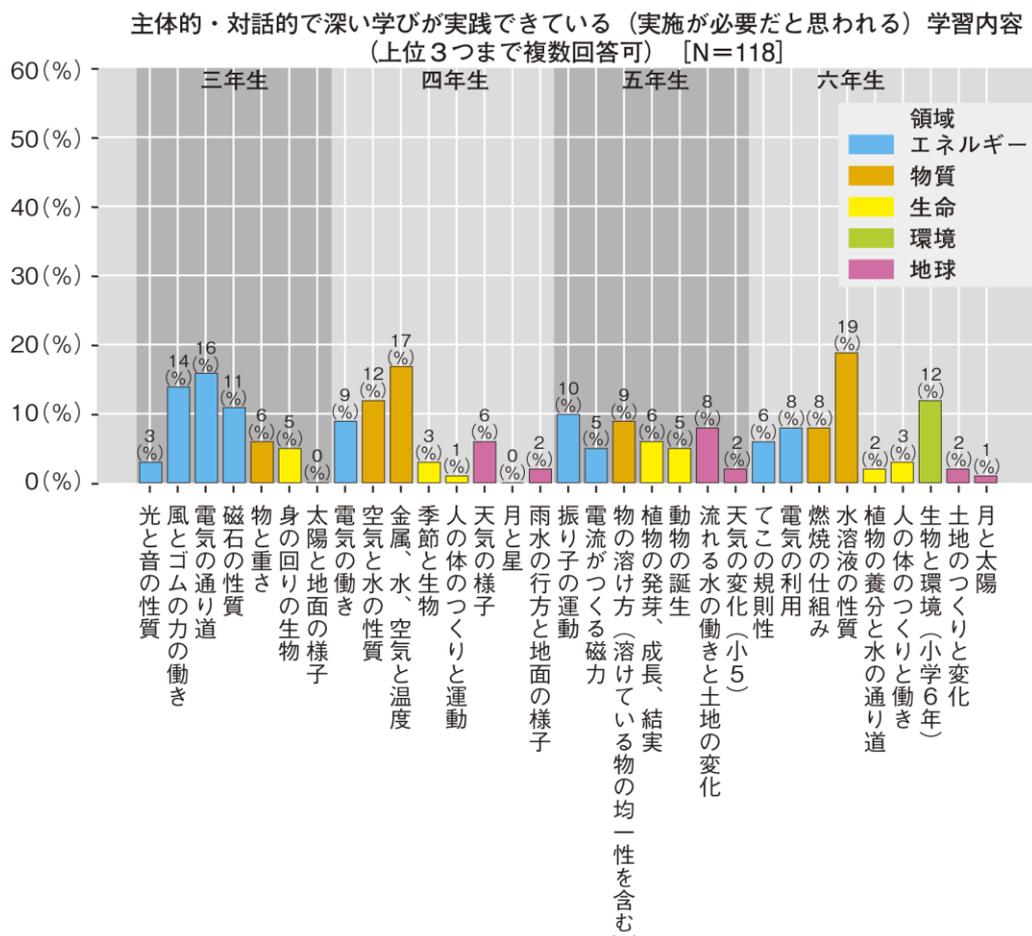


## DATA④ 主体的・対話的で深い学びの内容について（小学校理科）

小学校における授業で主体的・対話的で深い学びが必要な内容は、物質領域の「水溶液の性質」が19%、「金属、水、空気と温度」が17%で上位2つとなった。また、三年生のエネルギー領域である「電気の通り道」が16%、「風とゴムの力の働き」が14%と続くことから、主体的・対話的で深い学びを実践する上で、物質領域やエネルギー領域の学習内容が選ばれる傾向がみられた。ただし、回答者数は115人で、回答は上位3つまでの複数回答である。

Q 既に主体的・対話的で深い学びが実践できている学習内容、またこれから実施が必要だと思われる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校）（D-9）

※「理由」については、この中間報告では割愛しています。



DATA⑤ 主体的・対話的で深い学びの内容について（中学校理科）

中学校における授業で主体的・対話的で深い学びが必要な内容は、エネルギー領域の「光と音」、物質領域の「化学変化」および「化学変化と電池」、環境領域の「自然環境の保全と科学技術の利用」がそれぞれ13%であった。また、物質領域の「自然環境の保全と科学技術の利用」と環境領域の「生物と環境」が11%となっていることから、主体的・対話的で深い学びを实践する上で、化学変化や環境にかかわる学習内容が選ばれる傾向がみられた。ただし、回答者数は45人で、回答は上位3つまでの複数回答である。

Q 既に主体的・対話的で深い学びが実践できている学習内容、またこれから実施が必要だと思われる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校）（D-9）

※「理由」については、この中間報告では割愛しています。

